

教文演劇フェスティバル2013 短編演劇祭 応募台本

# ごほんのじかん

作

■ チーム名

■ 出演者

■ あらすじ

園田家のリビングに家族が集まり、父・武男のささやかな退職祝いが開かれている。しかし、そこに母の姿はない。母・真樹子は病気で二年前に他界した。ご馳走を食べながら、母との思い出を語り合う。仕事以外の趣味もなく、家事はまったくしない、それでいて何かと神経質な武男。そんな夫に愛想をつかし、一度だけ真樹子は娘夫婦のところへ家出する。武男は武男で、妻が戻るまで絶食を決意。そんな意地の張り合いに翻弄される子息たち。ようやく元の鞘におさまるが、それも母の居ない今となつては思い出の一つ。離れたくないが、やがては離れなければならぬ家族——。母に依存しっぱなしだった家族たちは、母の死から二年。少しずつ自立をはじめようとしている。そこにはまた、新たな家族の絆が芽生え始めている。